市長提出議案

①情報公開条例の改正…可決

不開示情報を一定の場合に限り、公文書の存否を明らかにせず、開示を拒否できるようにするもの。

②個人情報保護条例の改正…可決

番号法の施行に伴い、個人番号を含む個人情報の取り扱い及び情報提供等記録の保護に関し所要の措置を講じ、地方独立行政法人に関する規定を整備。一定の場合に限り、公文書の存否を明らかにせず、開示を拒否できるようにするもの。

③情報公開及び個人情報保護審議会条例の改正…可決

番号法に規定する特定個人情報保護評価項目を情報公開及び個人情報保護審議会で所掌するもの。

④手数料条例の改正…可決

番号法に基づき、交付するカードの再発行手数料などを定めるもの。

〔討論〕

平議員…大量な個人情報の自由な利用を許せば、差別的な取り扱いを受ける可能性が生じる。法整備が十分でない。全て反対。

関戸議員…行政の都合によって拒否の判断ができるような改定はすべきではない。

内閣府の調査で番号法の内容を知らない人が半数いる。わかっている人からも情報保護に不安を感じる声がある。すべて反対。

池田議員…個人の人権を守りながら、行政の公開性を明確に担保する文言であるべき。①に反対。

番号法には反対だが、個人情報の取り扱い及び情報提供などの記録の保護は必要。②に賛成。

取手ウェルネスプラザ

●取手ウェルネスプラザの設置及び管理に関する条例の改正…可決

施設の住居表示の変更及び使用料の一部を変更し、利用者の利便性のさらなる向上を図るもの。

〔討論〕

市村議員…料金が詳細なものになり、回数券や1カ月フリーパス等が加わり、柔軟なものになった。賛成。

川又議員…長い間放置されていた土地に、ウェルネスプラザがオープンすることになり、大変喜んでいる。駐車場の問題もこれから考えてほしい。賛成。

水槽付消防自動車

●水槽付消防自動車購入契約の締結…可決

〔討論〕

市村議員…20年経過する消防自動車の使用を懸念していた。より高度な消防活動に当たるために高機能な設備を備えている。賛成。

吉田議員…市民の安全を確保するため、車両の刷新を行い救急体制の充実を図るとともに、消防職員の士気が上がることで市民の安心安全につながる。賛成。

●平成27年度一般会計補正予算…可決

〔討論〕

阿部議員…創業支援事業補助金で駅周辺に事務所を用意し、創業を希望する方が経営アドバイスを受けられ、既存の事業者と横のつながりをつくる事業支援は全国でも珍しい取り組み。ぜひ成功させてほしい。賛成。

入江議員…コミュニティバスは年間21万人の利用者があり、多くが60歳以上。バスロケーションシステムの導入で若い世代に好まれ、利用増進を願う。賛成。

結城（ゆうき）議員…地方創生先行分の補正予算が組まれている。これから市とボランティアが協働でアートを使ったイルミネーションを広げていき、しっかりと取手を売り出してほしい。賛成。

飯島議員…青年就農給付金はレンコン農家の新規就農支援に充てられ、取手で新規就農者が出たことは喜ばしい。さらに増えるよう厚い体制構築を。賛成。

池田議員…コミュニティバス運行ルート見直しは大変な作業だったと思うが、ロケーションシステム導入と併せ、市民に寄り添った補正予算案が出ている。アスベスト対策も至急に予算対応がされている。賛成。

スマートホンで見た画面イメージ

①バスロケーションシステムのウェブサイト（http://toride.bus-go.com）にアクセス
②路線名、停留所名を選択
⇒リアルタイムでバスの位置が表示されます

バスロケーションシステムウェブサイトのQRコード→

意見書

意見書とは、議会がその意思を、国会や関係行政庁に対する意見をまとめた文書のことです。

●安全保障法制改定関連法案の撤回、廃案を求める意見書…可決

〔提出者〕

池田議員ほか3人

〔討論〕

齋藤議員…平和安全法制の目的は紛争を未然に防止し、戦争を起こさない仕組みをつくること。国民を守る隙間のない体制を構築するものであり、日本にとって必要な法案。反対。

平議員…時の政府の判断で憲法の平和主義、国際協調という基本理念や9条の原則も全く無視している。自衛隊を海外の紛争にも派遣できるようになる。賛成。

倉持議員…法案の中身にも不備な部分が多く、法案ありきの姿勢には反対せざるを得ない。国民の大多数がまだ賛成に向かってない。賛成。

市村議員…法案が通った場合、戦争等に参加する若者、私たちの家族が被害を受けたときに初めて違憲かどうか裁かれる。もっと慎重に審議を重ねるべき。賛成。

小池議員…安保法案の違憲性は明瞭。争い事を武力でなく、話し合いで解決する平和外交を築くべき。賛成。

●平和友好についての意見書…可決

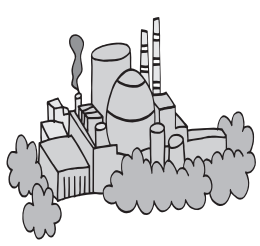
原子力エネルギーからの脱却と自然エネルギーへの政策転換、被ばく国として世界の核兵器開発と核実験に政府が反対することを求めるもの。

〔提出者〕

市村議員ほか5人

〔討論〕

齋藤議員…陳情の平和友好要請書は、安保関連法案の政策転換を求める記述があり、公明党として反対をした。この意見書の要請事項には賛成する。



●原発再稼働の中止を求める意見書…可決

〔提出者〕

市村議員ほか5人

〔討論〕

倉持議員…原発とは怖いもの。今、必要なことは福島原発事故の原因の究明や責任の所在を明確にすることではなく、検証をすること。再稼働に向けた動きにはその検証が不十分。賛成。